

事務事業名 大東図書館施設整備事業		所属部 教育委員会	所属課 社会教育課	
総合計画体系	政策名 (IV)ふるさとを学び育つまち<<教育・文化>>	所属G 社会教育G	課長名 細木皇宏	
	施策名 (28)生涯学習の推進	担当者名 安部千愛	電話番号:40-1073 (内線) 2241	
	基本事業名 (087)学習環境の充実	予算科目 会計 款 大事業 大事業名 0 1 5 0 0 5 項 目 中事業 中事業名 2 5 2 5 0 2	図書館施設整備事業 大東図書館施設整備事業	
	目的:対 象 市民 意 図 生涯を通じて自ら学び、人生を豊かにする。 目的:対 象 市民 意 図 充実した施設・設備を利用する。			

1 現状把握【DO】

(1)事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 ( 年度～ )
<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 28 年度～ 29 年度 )
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
今まで仮移転としていた大東図書館の増改築工事を行い、本移転として整備を行う。
H28 実施設計 H29 増改築工事

(2)事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	29年度実績(29年度に行った主な活動) 既存備品の一時移転 請負工事の入札・着工 備品の入札・購入 改修後の活用について協議・調整	30年度計画(30年度に計画する主な活動) 施設供用開始			
	② 活動指標	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
ア	予算額	千円		2,706	141,079	0
イ						
ウ						
エ						

(3)事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)	
	大東図書館の増改築工事	ア	契約数	件		1	7	0
		イ						
		ウ						
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)		
工事が順調に進捗する	ア	進捗率(全体)	%		1.8	100.0	0.0	
	イ							
	ウ							

(4)事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (29年度決算)	② コストの推移	単位	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(計画)
消耗品:300千円、修繕費128千円、手数料:99千円、委託料:5,000千円、工事請負費:131,344千円、備品購入費:4,208千円、	財源内訳	国庫支出金	千円			
		県支出金	千円			
		地方債	千円		2,500	127,200
		その他	千円			
	一般財源	千円		206	13,879	
	事業費計(A)	千円		2,706	141,079	
	人件費	正規職員従事人数	人		2	2
	延べ業務時間	時間		1,000	1,600	
	人件費計(B)	千円		3,967	6,523	
	トータルコスト(A)+(B)	千円		6,673	147,602	

(5)事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
平成22年度に現在の施設へ仮移転を行い利用者が増加した。施設が狭隘となった。	平成27年度に関係機関の代表を含む雲南市立大東図書館整備検討委員会を立ち上げ、整備についての検討を進めてきた。	検討委員会の中で、学習室、閲覧室を広くしてほしい等の意見が出された。

事務事業名	大東図書館施設整備事業	所属部	教育委員会	所属課	社会教育課
-------	-------------	-----	-------	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？ <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒	見直し余地があるとする理由
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？ <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である * 余地がある場合⇒	
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？ <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒	
B 有効性	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？ <input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない 理由 実施設計に則った改修工事であり、成果向上余地はない	
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ <input type="checkbox"/> 影響無 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 理由 改修工事であり、中途での休止・廃止はあり得ない	
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？ <input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒ (具体的な手段や類似事業名) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない 理由 改修工事であり、他事業との整理統合は考えられない	
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 理由 入札減による事業費の削減は行っているが、その後の変更によりほぼ予算額を執行した	
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？ <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 理由 最低限の人員であり、また業務としても必要最低限のものであり削減余地はない	
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？ <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である 理由 全市民の利便性向上を図ることが目的の改修工事であり、公平である。	
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果 A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	② 1次評価結果の総括(根拠と理由) 工事監理業者および図書館業務委託先である㈱キラキラ雲南と協議を行いながら実施設計に基づき整備を行った。

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	② 改革・改善による期待成果																							
平成29年度に整備が完了したため廃止。	<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> <p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持			×																				
	低下		×	×																				